真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	生活困窮者自立相談支援事業		担当課・係	健康福祉部　社会福祉課　生活支援係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	5	生活保護と自立支援		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
自立支援事業により就労・増収した割合	%	5.0					
住居確保給付金により住居を確保できた割合	%	100					
学習支援事業の利用割合	%	25.5					

事業内容

・生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対する自立促進を図るため、生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業及び家計改善支援事業、住居確保給付金の支給、学習支援事業を実施している。
・自立相談支援事業は、生活上の困りごとについて専門の支援員が寄り添い型の相談支援を実施する事業であり、生活困窮者等からの相談に応じ、アセスメントを実施して個々人の状態にあったプランを作成し、手帳の取得や生活福祉資金の貸し付けなどの必要なサービスにつなげている。また、家計改善支援事業は、金銭管理などの経済的な問題のある相談者に対し、家計再生プランを策定するなど、自ら家計管理ができるよう包括的に支援することで生活基盤の安定を図る。
・学習支援事業は、生活保護世帯と準用保護世帯の中学生を対象に、真岡と二宮の会場で週1回学習塾の開催をしている。生活困窮状態にある世帯の児童等に対し、学習習慣・生活習慣の確立や学習意欲の向上を図ることで、居場所づくりの他、高校進学を目的とする。
・住居確保給付金は、離職などにより経済的に困窮し、住居を失うおそれのある方又は失ってしまった方を対象に、就職活動を実施することなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給することにより居住を安定させる。
・各事業は、原則として本人の申請により支援事業を実施し、生活困窮者の自立促進及び貧困の連鎖を断ち切ることを目的とする。

前年度の課題（Check）

・新産業団地の造成や区画整理地内の商業施設の増加等により、就業人口は増加するものと予測されるが、物価高騰などの影響で足元の経済状況は弱含んでおり、低所得世帯への今後の影響が懸念される。
・相談内容により自立困難と思われる世帯については、生活保護や他の支援策と連携する必要がある。
・学習支援については、教室に参加した生徒全員が高校受験合格となった。
・学習支援について定員55名に対し利用者は50名で昨年より5名増加したが、出席率の低い生徒がいるため、参加への意識付けをいかに行うかが課題である。

7年度振り返り

【1】実績（Do） 7年度に実施した事業
・自立相談支援事業相談人数 159人　相談から就労に結びついた人数　7人
・住居確保給付金支給件数　4件
・要保護・準用保護人数（中学生のみ）196人　学習支援事業利用人数　50人

【2】結果と課題（Check）
・相談数に対するプラン作成率：R6：4.3%（7件/163件）→R7：9.4%（15件/159件）
・相談数に対する就労、増収率：R6：6.1%（10件/163件）→R7：5.0%（8件/159件）
・相談からプラン策定に至るケースは微増しているが、就労及び増収へ結びついていない。
・学習支援事業利用率：R6:22.6%（45人/199人）→R7：25.5%（50人/196人）

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・プラン策定が増収につながるケースが多いため、プラン策定対象者に対し、策定への働きかけの強化と、総相談者に対するプラン策定者を10%以上を目指す。
・学習支援については、各中学校に対し、事業利用における進学率などの情報提供を行い、事業の利用率の向上を図る。

（2）長期的な計画で検討すること
・自立支援事業については、引き続き社会福祉協議会と連携し、就労者及び増収者の増加を目指すため、プラン策定内容の検討を重ねながら、雇用状況に合わせた対応を行っていく。
・学習支援については、学習意欲の向上や進学率の維持を行いと共に、居場所づくりの観点からも利用者の増加を目指しながら、新たな学習意欲や進学への意識などの掘起しを行う。
・上記の事業などを通じて、生活困窮者の自立促進及び貧困の連鎖を断ち切る。